

令和4年度 西東京市立柳沢中学校 関係者評価表

学校の教育目標						
・広い視野をもち、勉学に励む人間「問題発見・解決能力」 ・思いやりのある人間「人間関係形成力」 ・心身ともに健康な人間「豊かな人生を実現させる力」						
1 目指す柳沢中の姿 (1) 活力ある学校 (2) 安全・安心で、生徒・保護者・地域から信頼される学校 (3) 「Team Yagisawa with smiles」チームとしての学校						
2 目指す柳中生の姿 (1) 自ら学ぶ生徒 (2) いじめや問題行動のない心豊かな生徒						
3 目指す教職員の姿 (1) 授業力向上に真剣に取り組む教師 (2) 人権尊重の理念を理解し、生徒の心に寄り添う教師						
	具体的方策	学校自己評価		学校の取り組みおよび改善策	学校関係者評価	学校関係者評価記入欄
		取組指標	成果指標			
確かな学力の向上	基礎・基本の定着やわかりやすい授業づくりに向けて、「柳沢中スタンダード8つの取組」と「ユニバーサルデザインの視点による授業の取組」を活用して授業改善に努めている。	4	4	今年度から「柳沢中スタンダード8つの取組」と「ユニバーサルデザインの視点による授業の取組」を活用したことで、どの生徒にもわかりやすい授業展開を意識し、工夫を取り入れて授業改善に努めた。	A	・教員同士の連携により、生徒一人ひとりの特性を把握し、授業展開にいかされている。・ユニバーサルデザイン等、具体的な取組が成果を上げている。アンケートでも「授業がわかりやすい」の率が確実に上がっている。継続してほしい。
	各教科の授業において、目標に基づいて適正な評価・評定の実施に努めている。	4	4	授業開きにおいて、年間学習計画や単元及び教材ごとの学習目標、評価規準、毎時間の本時の学習目標を明示し、学習者の目標達成に向けての意欲向上に努め、振り返りを行い、個人内評価に取り組めるようにした。	A	・毎時間における学習目標を示す取組の徹底の継続を希望する。保護者アンケート結果に加え、生徒にも「適切な評価を受けている」と感じているか確認し、生徒との信頼関係をより一層深めていただきたい。
	GIGAスクール構想の具現化を図り、ICT機器を活用した授業改善・教育活動の質の向上を図るとともに、海洋教育バイオニアスクールプログラム校としてワクワクドキドキするような教育活動に取り組んでいる。	4	4	海洋教育バイオニアスクールプログラム校2年目。イカの解剖を能登里海研究所とオンラインで結び事前に教員が研修し、ファシリテーターとして授業を行った。継続して生徒がワクワクするGIGAスクール・教材開発に努める。	A	・貴重なプログラムを継続しており、恒例になるよう努めて欲しい。・イカの解剖に於いては皆イキイキとした表情を見せており、成果が見られる。・海洋バイオニアプログラム等具体的な取組、生徒が興味をもてる取組を継続してほしい。
豊かな心の育成	時間、挨拶、言葉遣い、決まりを守るなどの生活目標の達成に向けて「あじみこし」を定着させ、基本的な生活習慣の確立に努めている。	4	4	時差登校やコロナ禍の影響で、時間の甘さが見受けられる生徒もいるが、全般的には基本的な生活習慣が身に付いてきている。マスク着用で率先しての挨拶はまだ弱く、挨拶の飛び交う活気ある学校に発展させていく。	A	・自発的な挨拶をする生徒は増加傾向だが、月曜日の朝、元気がない様子が心配である。・時間ぎりぎりになって登校してくる生徒が多いが皆守ろうとしている。・朝の検温時にこちらからあいさつしないと返事が返ってこない。・表面上のあいさつ等には表れなくとも柳中の生徒は活気をもっていていると思われる。
	一人ひとりを大切に教育を推進し、深い生徒理解、情報共有の徹底や関係諸機関との連携など早期発見、早期対応、未然防止に努めている。	4	4	教育相談アンケートを学期ごとに実施し、特に情報共有の徹底と早期発見・対応を行った。生活指導部を中心に全校体制で生徒理解、早期発見・対応に取り組んだ。今後も生徒の心の様子を迅速に察知し未然防止に努める。	A	・先生が生徒に対し積極的に向き合っていることがアンケート結果から読み取れる。・生徒が安心して学校を信頼している姿が見取れる。
	保護者や地域の理解及び協力を得ながら、地域貢献活動の推進をし、心の育成を図っている。	4	4	ウイズコロナとして感染対策を講じながら、保護者や地域と連携して繋がる活動を実施した。特に50周年記念花壇プロジェクトや地域行事のボランティアに積極的に参加する生徒が増加傾向である。	A	・むくのき祭りで活躍する生徒たちに感心した。地域の大人たちに対する受け答えができており、幼児や小学生には思いやりの心をもって接していた。・どんど焼きにおいては多数の生徒が積極的にボランティアへ参加してくれた。・柳中は外部におおいに開かれておりヤギカフェ等地域の方が多く関わっていて風通しがよい校風である。
個に応じた指導	部活動や行事などで達成感の得られる活動や向上心を高めさせる活動や持久走などの継続的な取組による生徒の心身の向上に努めている。	4	4	部活動は、コロナの影響で制限がされた中で、できる範囲で活動を実施している。今年度は、50周年記念運動会や合唱コンクールを全校生徒で実施し、一人一役の係活動や学級における集団目標の達成に向けた体験から達成感を感じる生徒が多く出現した。	A	・沢山の行事を行うことができ、生徒にとって思い出に残ることが沢山できた。・一人一人に生徒の良さがどこかできらりと輝くような活動であることを望みたい。
	校内の安全、安心、安定な生活環境を整えた安全教育の実施と危機管理体制を確立している。	4	4	毎朝の検温では、地域の方の協力も得て新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。感染対策を講じながら避難訓練の実施をし危機管理体制を確立している。	A	・玄関入口3ヶ所の検温器ではみんな挨拶とともに協力をしてくれている。・毎朝の検温等のシステムが整ったと思われる。・一律から自己判断へとシフトチェンジされてきている中、正しく判断し行動できる「力」の伸長を望みたい。
	活力ある生徒、自他の生命を大切に持つ心を持つ生徒の育成をするため、学校行事や生徒会活動での取組を工夫する。	4	4	プログラムを工夫して運動会を実施し、感染対策を万全にして合唱コンクールを全校で実施した。修学旅行やスキー教室の宿泊を伴う行事や校外学習等感染防止に努めて実施したことで、生徒の満足感につながった。	A	・落ち着きつつあるコロナ禍での行事再開は充実した中学校生活につながっている。・修学旅行、スキー教室が無事に実施できたこと、大変お疲れ様でした。
地域との連携	授業公開、学校だより、学年・学級だよりやホームページをリアルタイムで発信し、教育活動の積極的な公開に努めている。	4	4	授業公開の実施、学校だよりや学年、学級、保健だよりを通して教育活動の発信に努めた。今年度はホームページの掲載を工夫したり、できるだけリアルタイムで更新したりして、積極的に教育活動を公開し、本校の教育活動に理解に努めた。	A	・スキー教室の様子がメール配信されてとても良かった。生徒の様子から移動教室の全体的な流れまで写真も交えて保護者も安心したと思う。・校長と生徒との交流も充実して行われているようで関心している。
	学習支援員や外部人材など地域の教育力を活用した学習補助及び放課後学習教室を推進し、働き方改革に積極的に取り組んでいる。	2	4	人材を活用するため学習支援員として武蔵野大学の学生に随時授業補助にあたっていただき、連携を結ぶことができた。3学期は、支援費の再配当を申請し、武蔵野大学ボランティア団体と連携して週2回学習の補助に配置できるようになった。継続して地域連携し、支援員を増やしていく。	A	・MURPの協力で一定の成果をあげている様子。・校外とのボランティア等がうまく導入されている。・先生方の専門性を生かしてさらに充実した授業（指導）ができるよう、地域、保護者が成すべき役割を果たし、さらに支援していけるとよい。
	R5学校と地域が連携して地域の子供たちの育成に努めている。					

A：自己評価は適切である。 B：自己評価は適切ではない。 C：評価のための資料が不足している。 D：評価は不可能である。